

開催日：2016年8月27(土)～28(日)日

場 所：レイクサイド磐光 (福島県猪苗代町 志田浜)

内 容：裏面のプログラム

※ 参加申込みは、第二次案内で、詳細は、後日きょうされん福島支部HPにて

テーマ

次の世代に!!

「全国のすぐれた実践から、

働くを考え、

学ぶ」

作業所を立ち上げた人たちが、次の世代にバトンを渡そうとしています。

障害者自立支援法がスタートし、無認可作業所が、障害福祉サービス事業所に移行し、公費を使って、旧法定施設と同じ取り組みができるようになりました。

今、私たちが「働く」に取り組んでいることは
無認可作業所を立ち上げたころの
彼らの「私たちも働きたい」という思いと、重なっているのでしょうか。

福島の全国大会で
被災した人たちは「働くこと・暮らすこと・支えること」へ貴重な提言をしました。
「仕事があることのありがたさ、仲間がいることのありがたさ」
「安心して食事がいただけ、安心してぐっすり眠れるありがたさ」
「困難が大きければ大きいほど寄り添ってくれる人がいるありがたさ」
その中で語られたことは、
震災がなかったとしても、私たちが大切にしてきた原点そのものでした。

「次の世代に!!」
あの震災と原発事故を経験し、これからを進んでいくのに、みんなが思っていること
です。

そんな「次の世代」を取り巻く「働く」の現状はといえば
目標工賃達成加算・工賃向上・施設外就労・就労移行実績・就労自立雇用・尊厳ある
労働・働きがい・権利としての労働・一般就労・福祉的就労・訓練等給付・介護給付・
就労系サービス・介護系サービス・サービスを提供する・提供される・福祉型専攻
科……………。

「働く」を考え続けた月日におこったいくつかの出来事。
養護学校の義務化、作業所づくり、障害者自立支援法総合支援法、社会福祉法の一部
改正。

障がいのある彼らが「この町で働き、暮らし、楽しみを持って生きていくために」
8月27日28日の二日間、
先輩たちが託していく次の世代の人たちと、今を生きていく次の世代の人たちと、
働くを考え、働くを学びたいと思います。

若いも若きも、お誘い合わせのうえ、ふるってご参加ください。